

文教厚生委員会会議録

平成24年3月29日(木)

午前9時30分 開会

○山田清一委員長

ただいまから文教厚生員会を開会します。閉会中の調査事項の中間報告について、を議題とします。委員みなさんには中間報告の案を事前にお送りしておりますので、お読みいただいているかと思えますけども、これについて各委員の皆さまからご意見を伺いたいと思います。よろしくをお願いします。

○石川英之委員

たいへん委員長、副委員長共に頑張っていたいただいて、いいものができたと思います。ちょっと言葉で、どうだろうと思ったところが3か所ほどありますので。まず2ページ目の11行目の最後の方が、「まったく違う施設であり、運営方法でした。」というところが、なんとなく、読んでいたときに一瞬違和感があって、言いたいことはすごくわかるんですが、たとえば「違う施設であるとともに、運営方法も～でした。」みたいなふうの方が、スムーズに耳に入ってくるのかなという気がしました。それはあくまでも個人的なあれです。それからその次の13行目の「～に沿って、安全面を考えられた施設で」というところも、なんとなくちょっとこう読んでいるときに・・・です。それから4ページ目の6行目の、どなたが言った意見かわかりませんが、中ほどの「先進的な取り組みをしている自治体は、よい職員に恵まれ」というのが、非常にひっかかるところで、じゃあうちは、よい職員がないのかみたいな、もう少し言い方があるんじゃないかなっていう気がしました。

○中村宗雄委員

石川委員同様、非常によくまとめられているなというふうに思っています。まず1ページ目の27行目。これはほんとにそれでいいのかなと、ちょっと不安なところがあったものですから、「介護予防の事業主体である半田市は」、介護予防の事業主体が半田市なのかどうか、ちょっとその辺のところ不安だなというところが1点と、あとこれに至る前提と、視察に行った各視察先の状況と、各委員の意見は、非常に正しくまとめられていると思います。そして、気になるところが、提言の部分が、1から4つにわかれて行政側に提言していくわけですが、この提言が非常にこの大きな枠組みでものを言っているなというのが気になりました。というのは、例えば自治体視察に行ったときに、今までのレポート等そうなんですけど、結局手法が欲しいのか、仕組みが欲しいのか、成果が欲しいのか。こういうところをはっきりしないといけないよねと。物差しを持ってやるべきじゃないのというところですか、筋トレは、和歌山のエクササイズでしたっけ。こういう具体的にそういうことをやっていこうよとかいうような、その具体論に発展していかないと、抽象的に終わってしまうのかなと。大事なことはみなさん認識していますし、やはり予防ということが大切だとわかっている中で、委員会が提言するならば、具体的に何をしろということ。例えば成果に重点を置くべきだと。そのためにシニアエクササイズみたいなことをやるんだとか。具体的にしていかないと、これを受けた方も、そんなこと知っているわとくらのこの総論的な事が書いてると、施策に展開しにくいんじゃないかと思いましたので、気

付いた点は以上です。

○山内悟委員

私からは、1ページ目ですけど、前半のリードの部分で、日本の高齢化率がどうのこの、云々カンヌン書いてあって、そのあとの半田市については、高齢者の人数は書いてあるんですけど、せつかく国の高齢化率が書いてあるので、半田市も高齢化率を入れるべきじゃないかなと。入れないと整合性がないかなというのが1点。2ページ目ですけど、視察先の感想ですけど、和歌山市と橋本市のこのボリュームの違いがちょっと気になって。というのは、私たちの直感で言うと、和歌山市はなおざりで橋本市が先進をきっているもんだから、あとにくっついてくるような、そんなような印象を私は受けたんですよ。むしろ橋本市のほうが独創的なやり方をやっているなと思って、私はそういうふうに取り取ったんですけど、リードしていると思ったんですけど、その割にボリュームが和歌山市の半分、橋本市の評価がね。僕は橋本市で言うと、リーダー作りに、ここに「中心となるリーダーを発掘し」と一行になってしまっているんだけど、ここが一番のポイントだと思っているんです、橋本市でいうとね。そのリーダー作りにもものすごく力入れて、男性を発掘して中心メンバーに据えてっていう工夫があったり、卒業後もそれぞれ付き合っているっていうのがあって、Tシャツを作って、連帯感を作っているとか、そういうのがあって私は、印象を受けてるんですけど、ちょっと橋本市がボリュームが少ないなという気がしました。和歌山市が多すぎるのかもしれませんが。どちらかです。

○竹内功治委員

みなさんが言うとおりの、大変内容もいいものですので、特にこれだけというのは無かったんですけど、僕も実は今山内さんと一緒にのことを思っていて、和歌山市と橋本市の差がちょっと、和歌山市がよくないと言いませんけど、和歌山市のボリュームがちょっと多いのかなと思っていて、橋本市を増やせばいいのかもしれませんが、橋本市は和歌山市のそれを受けながら、こういうこともやっているとか、そういうような形でちょっとボリュームを変えた、逆にするような形のイメージの方がいいのかなと思っていました。

○石川英之委員

1か所忘れてました。2ページ目の21行目の和歌山市の部分ですが、要介護認定率というのは、高くなると悪いんでしょうか。ここに「ワースト3位」と書いてありますが、ベストとかワーストでくくってしまっているものなのどうかという、「全国でも3番目に高く」とかというような書き方にした方がいいと思います。

○渡辺昭司委員

あいち介護予防支援センターとの協力関係なんですけど、これはたぶん正副委員長で議論されたのかわかりませんが、津下先生のお名前とか出されない方が、委員長報告とかいいのか悪いのかといったところが、少しどうなのかなと。ああいった先生がお見えになるということとかの内容が少し入れられたらということと、提言のところの3番で、「半田市独自の」とかのところに、ある程度全庁的な中での取り組みや内容。基本的に、今からわかりませんが、七本木池構想みたいなものがあったりしたときには、東海市みたいなああいうものを、介護予防も取り入れた内容の中、ああいうものを作ったとか、そんなようなことが全庁的に取り組めるようなことができるようなことでの少し内容が絡められたら

いいのかなというふうには、それがさっき中村委員が言った具体性のある内容になってこないかなというふうには思いました。

○山田清一委員長

他にありませんでしょうか。しばらく休憩します。

午前9時38分 休 憩

午前9時54分 再 開

○山田清一委員長

会議を再開します。ただいまみなさんからいただきましたご意見をもとに、修正箇所につきまして、修正をしていきたいと思えます。それにつきまして、修正した後、みなさんにご提示させていただきまして、また委員会を開催していきたいと思えますけれども、次回の日程を調整したいと思えます。しばらく休憩します。

午前9時55分 休 憩

午前9時56分 再 開

○山田清一委員長

会議を再開します。今後の予定ですけれども、次回の委員会は、4月9日、月曜日、13時からということですのでよろしくお願いいたします。そのとき委員会を開催して、再度みなさんからご意見をいただくという流れにしたいと思えます。その他何かございましたら、発言をお願いします。

ないようですので、文教厚生員会を閉会します。ありがとうございました。

午前9時58分 閉 会